

福井県感染症発生動向調査速報

<<平成18年>>

<週報> 第16週 (平成18年4月17日～4月23日) 発行日：平成18年4月26日
発行：福井県健康福祉部健康増進課
福井県衛生環境研究センター
kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎244名(11.09名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎95名(4.32名) 咽頭結膜熱49名(2.23名) 水痘39名(1.77名) 流行性角結膜炎3名(1.0名) ()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(244名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(95名) 咽頭結膜熱(49名) 水痘(39名) インフルエンザ(25名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は244名です。定点当たり患者報告数は減少しました(11.18名 11.09名)。地域別にみると福井地区18.86名、丹南地区11.2名、坂井地区9.0名、二州地区5.67名、奥越地区5.5名、若狭地区0.5名の順となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は95名です。定点当たり患者報告数は増加しました(2.95名 4.32名)。地域別にみると奥越地区9.5名、丹南地区7.4名、二州地区4.0名、福井地区2.86名、坂井地区2.0名の順となっています。
- 【咽頭結膜熱】報告数は49名です。定点当たりの報告数は増加しました(2.14名 2.23名)。地域別にみると福井地区3.29名、二州地区3.0名、丹南地区2.4名、若狭地区1.0名、坂井地区0.67名、奥越0.5名の順となっています。
- 【水痘】報告数は39名です。定点当たりの患者報告数は増加しました(1.32名 1.77名)。地域別にみると丹南地区3.6名、福井地区2.0名、坂井地区1.0名、若狭地区1.0名、奥越地区0.5名、二州地区0.33名の順となっています。

感染症週報全国版の要点

2006年第14週号(4月3日～4月9日)要点

発生動向総覧	<第14週> 水痘の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い/その他最新動向
注目すべき感染症	<咽頭結膜熱> 2006年は第3週以降、過去10年間と比較して最も報告の多い状態が続いている
病原体情報	冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2005/06シーズン / インフルエンザウイルス2005/06シーズン
速報	デング熱1999年4月～2006年第12週(2006年3月31日現在)
海外感染症情報	<今週は該当記事はありません>
感染症の話	<サル痘>サル痘ウイルス感染による急性発疹性疾患で、ヒトのサル痘での致死率は1～10%程度である

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症:報告はありませんでした。
- 2類感染症:報告はありませんでした。
- 3類感染症:報告はありませんでした。
- 4類感染症:報告はありませんでした。
- 5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:5類感染症(週報分)] 平成18年 第16週 平成18年4月17日(月)～平成18年4月23日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(15週)
インフル エンザ (32)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	8 0.73		5 1.25	1 0.33	9 3.00	2 0.25	25 0.78	17 0.53	2741 0.63
小児科 (22)	RSウイルス感 染症	5 0.71					1 0.2	6 0.27	2 0.09	188 0.06
	咽頭結膜熱	23 3.29	2 0.67	9 3	2 1	1 0.5	12 2.4	49 2.23	47 2.14	1152 0.38
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	20 2.86	6 2.00	12 4	1 0.5	19 9.5	37 7.4	95 4.32	65 2.95	5623 1.87
	感染性胃腸炎	132 18.86	27 9.00	17 5.67	1 0.5	11 5.5	56 11.2	244 11.09	246 11.18	19839 6.60
	水痘	14 2.00	3 1.00	1 0.33	2 1	1 0.5	18 3.6	39 1.77	29 1.32	6197 2.06
	手足口病	1 0.14			1 0.5		4 0.8	6 0.27	4 0.18	335 0.11
	伝染性紅斑	1 0.14					2 0.4	3 0.14	1 0.05	1288 0.43
	突発性発しん	6 0.86	1 0.33	1 0.33	2 1	2 1	8 1.6	20 0.91	13 0.59	2148 0.71
	百日咳									23 0.01
	風しん									17 0.0
	ヘルパンギー ナ								5 0.23	315 0.10
麻しん(成人麻し んを除く)									8 0.0	
流行性耳下腺 炎	3 0.43				3 1.5	3 1.5	2 0.4	11 0.50	5 0.23	4320 1.44
眼科 (3)	急性出血性結膜 炎	1 0.5						1 0.33		15 0.02
	流行性角結膜 炎	1 0.5					2 2	3 1.00	6 2.00	497 0.80
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								1 0.17	7 0.02
	無菌性髄膜炎									17 0.04
	マイコプラズマ肺 炎	1 0.5						1 0.17		130 0.31
	クラミジア肺炎(オム 病は除く)									2
	成人麻しん									3 0.01

インフルエンザは、小児科定点+内科定点
 細字は定点当たり患者数
 (注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。